

★伊藤裕（いとうゆたか） 職務経歴 H22年6月22日現在

年度	実績	内容
H1	鳥取大学農学部を卒業し、 ㈱ウェザーニューズ（東証一部）入社 H1～H16	最終職歴は新規事業企画開発担当部長。全社売上の30%の販売実績。航空支援システム、気象番組放送システム（TV、CATV）などの営業企画と販売を手掛け、主要獲得顧客には関西の読売テレビなどが挙げられる。また、自治体の防災情報市場を立ち上げ、会社の防災ブランドを確立した。
H6	自治省／地域衛星ネットワーク整備事業（マルチメディア対応の気象情報システム整備とコンテンツ配信事業）へのシステム及び気象情報コンテンツ提供の事業モデルの構築と事業実施スキームを整理	東京都、大阪府、島根県、沖縄県、兵庫県等全国都道府県の半数の防災システムを整備。この他、市町村のシステムも全国数百自治体に上る。マルチメディアの概念を取り入れたシステムを構築。気象情報を衛星通信と地上回線とで配信。本事業では三菱商事と事業提携し、自治省と同じ衛星回線による情報提供も始める。
H11	建設省／土砂災害情報相互通報システム整備事業（土砂災害相互通報気象システム整備事業）に関わる事業モデルの構築と事業実施スキームを整理	土砂災害防止法が制定され、全国自治体のシステム化を現状調査。地域の自主防災組織との連携を訴える。那覇市など全国の数十箇所のシステムを構築。気象コンテンツの企画と配信提供を行う。
H16	NPO「さんぼくらぶ」監査役就任	兵庫県特定非営利活動法人の監査役。自然体験を通じた幼児教育を推進。
H16	宮古島法定外目的税条例化ワーキンググループの立ち上げ（環境保全基金／法廷外目的税の条例化）	平良市、城辺町、上野村、下地町からなる法定外目的税条例化検討ワーキンググループにて条例化のスキームをまとめる。
H17	㈱メルティリンクに移籍	地域活性化ビジネスモデルを実践する為に㈱ウェザーニューズから移籍。
H17	沖縄県平良市観光交流事業アドバイザー業務受託	体験滞在型観光交流事業のアドバイザーとして平良市から招聘される。体験滞在型観光事業のツアー企画立案や事業性を検討。地域活性化事業の一環で観光面からアプローチを行う。
H17	宮古島市産業育成事業／コンサルタント業務受託（H17年度 地域離島資源活用・産業育成事業／ハーブ特産品開発事業）	産官学のハーブ特産品化事業にて、市場調査を通して商品化の指標を整理。育成品種の整理や販売に関する戦略等をまとめた。宮古島内のハーブ生産農家委員会、事業推進委員会の立ち上げと運営を行い、64種の市営ハーブ試験栽培圃場の整備計画を整理。事業予算の申請業務に加え、3年間の事業計画を策定。
H18	宮古島生販相互補助組合（任意）の組織化	有機作物を中心に試験栽培と試験販売を実施。30名程度の農業生産者を組織。後の（同）宮古島物産販売の基礎を築く。
H18	H18年度小規模事業者新事業全国展開支援事業採択（宮古島商工会議所）／コンサルタント業務受託	地域資源開発の一環で、レシピや加工商品の開発を行う。事業企画及び申請や委員会運営まで、業務の全般を行う。
H18	環境保全チャリティーコンサート企画	山崎まさよし等による環境保全チャリティーコンサート企画。収益金を島の環境保全基金に充てる。

H18	宮古島市法定外目的税検討支援業務受託 (環境保全基金の条例化案H18 年度業務)	宮古島市にて法定外目的税の導入検討をする中で、環境保全目的税条例化までの調査や計画策定の支援業務を受託。
H19	『合同会社 宮古島物産販売』設立	地域振興、社会貢献、環境保全を事業理念とし、全国のレストランや百貨店を中心に野菜を生産委託し(肥培管理指導も行い)、直接販売を行う。無農薬野菜を中心に商流を簡素化し、地域に外貨を獲得する事業と位置付けている。また、商品開発からブランド化や販路開拓の事業コンサルタントも行う。
H19	伊江村商工会/H19年度 Japan ブランド創出支援事業 (戦略策定事業)のコンサルタント業務受託	シモン芋等の地域の素材を飼料に健康ブランド合鴨のブランド化戦略策定事業を受託。推進委員会委員として、事業の企画書作成から助成金申請までを行い、市場調査や事業計画策定の実務に携わる。
H20	伊江村商工会/H20 年度小規模事業者新事業全国展開支援事業申請及びPR 業務の受託	合鴨のブランド化支援と販路拡大の事業 PR。著名料理雑誌「料理王国」へ著名シェフとのタイアップ記事掲載。東京や大阪の有名レストランへの販路開拓も行う。
H20	自社生産ネットワークの構築	沖永良部(鹿児島県)、伊江島、金武町、宜野座村、宮古島、生産拠点設立。千葉県、茨城県、京都府、愛知県の本土農家とも連携し、外食チェーン店への通年安定出荷を目指す。
H20 H22	財団法人沖縄県産業振興公社勤務	「離島総合活性化支援モデル事業」実施に伴う専門コーディネーターとして招聘される。離島の新事業の設立から支援する事業で、伊江島民家体験泊事業支援と宮古島の砂糖きびを使ったりキュールの製造から販売までの支援を行う。この他、業務の一環で県内個人事業主や企業の事業相談も対応している。
H21	鳥取県日野郡にて試験栽培	夏場の委託栽培先として、試験栽培を行う。H22 からパクチーの生産を行う。
H21	新規生産委託先及び提携先の開拓	本島今帰仁村、南城市、糸満市、名護市屋我地島にて新たに栽培指導を行い、新規産地ネットワークを充実。JA おきなわと提携し、委託栽培や JA の製品の販路開拓を開始する。
H22	経済産業省・中小企業庁地域資源活用認定事業への申請及びコンサルタント業務受託(沖縄県総合事務局/沖縄中小企業基盤整備機構) <★有限会社 ZEN(宮古島市)/うまむぬシリーズ商品化>	平成 22 年度、中小企業地域資源活用認定事業の申請が受理され、沖縄県宮古島市内の支援する製造卸売企業が認定を受ける。向こう 3 年間で、(同) 宮古島物産販売が事業コンサルタント及び販売専門の連携企業として地元産品を活用した商品開発の支援と販路開拓までを手掛ける。有名百貨店の PB 商品化を行う。
H22	沖縄県名護市屋我地のネットワーク産地化	ゴーヤ年間 20 トン、パパイヤ年間 30 トン栽培開始。
H22	沖縄県南城市、糸満市のネットワーク産地化	キャベツ、パパイヤ、ハーブ 3 種、シソなど多品目の栽培を開始。
H22	(財) 沖縄県産業振興公社/H22 年度 Japan ブランド	(財) 沖縄県産業振興公社に在籍しながら、本事業の申請から協

	創出支援事業（戦略策定事業）コンサルタント業務受託（6月末正式受託予定）	議会運営、沖縄春ウコンの品種登録や海外向けの商品開発における市場調査、販売戦略を整理する。県内74企業参加。
H22	鳥取県日南町のネットワーク産地化スタート	コリアンダーの生産開始。
H22	鳥取県庁日野総合事務局農林局／「商品開発及び販路開拓のいろは」講演依頼受託（6月18日）	農業従事者と製造業者を集めた講演会を行う。商流やマーケティングのいろはを解説。
H22	沖縄県商工連合会／専門家登録	商品開発やマーケティング、販路開拓の専門家として登録。